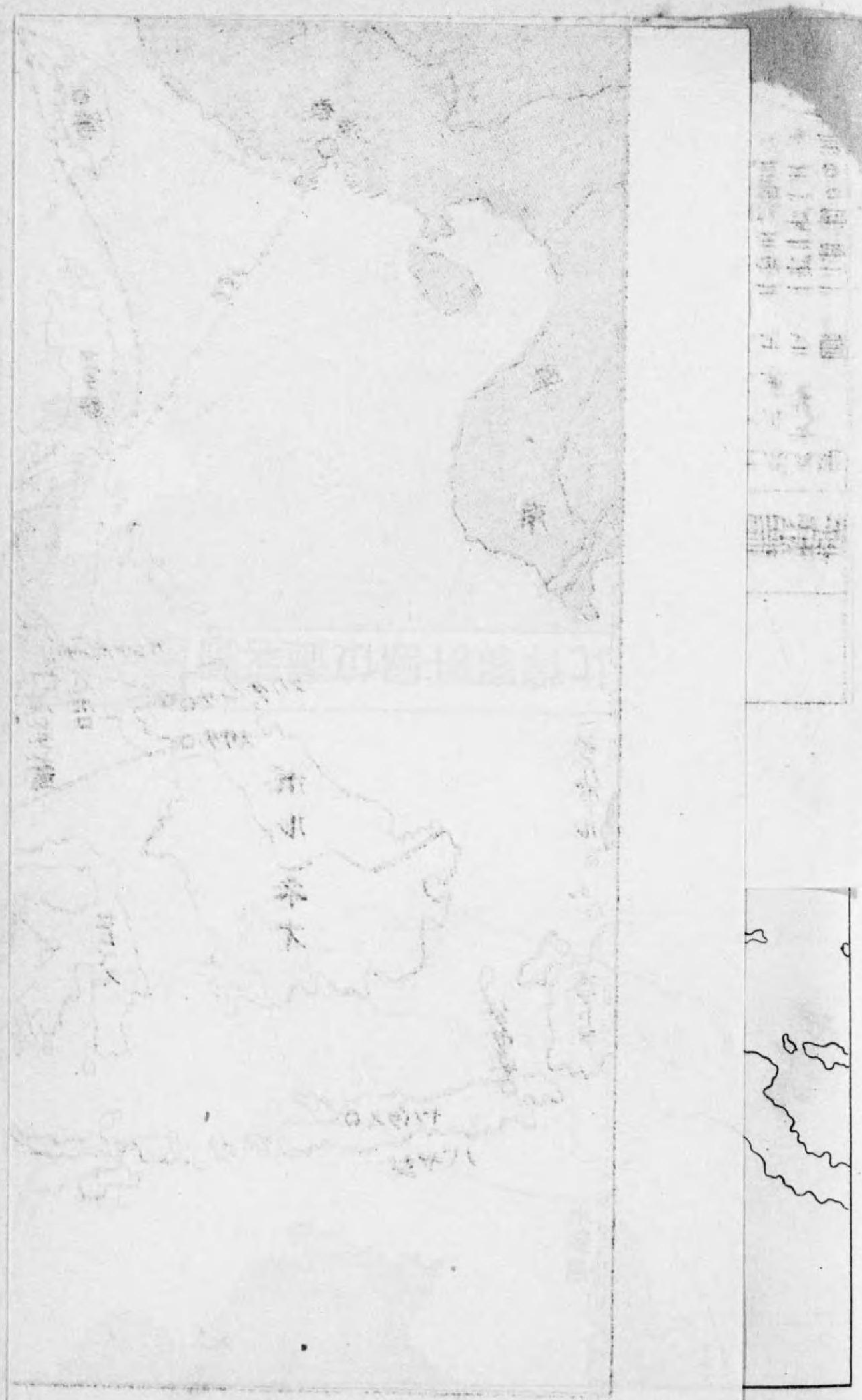
南支那及南洋調査第百五十九輯

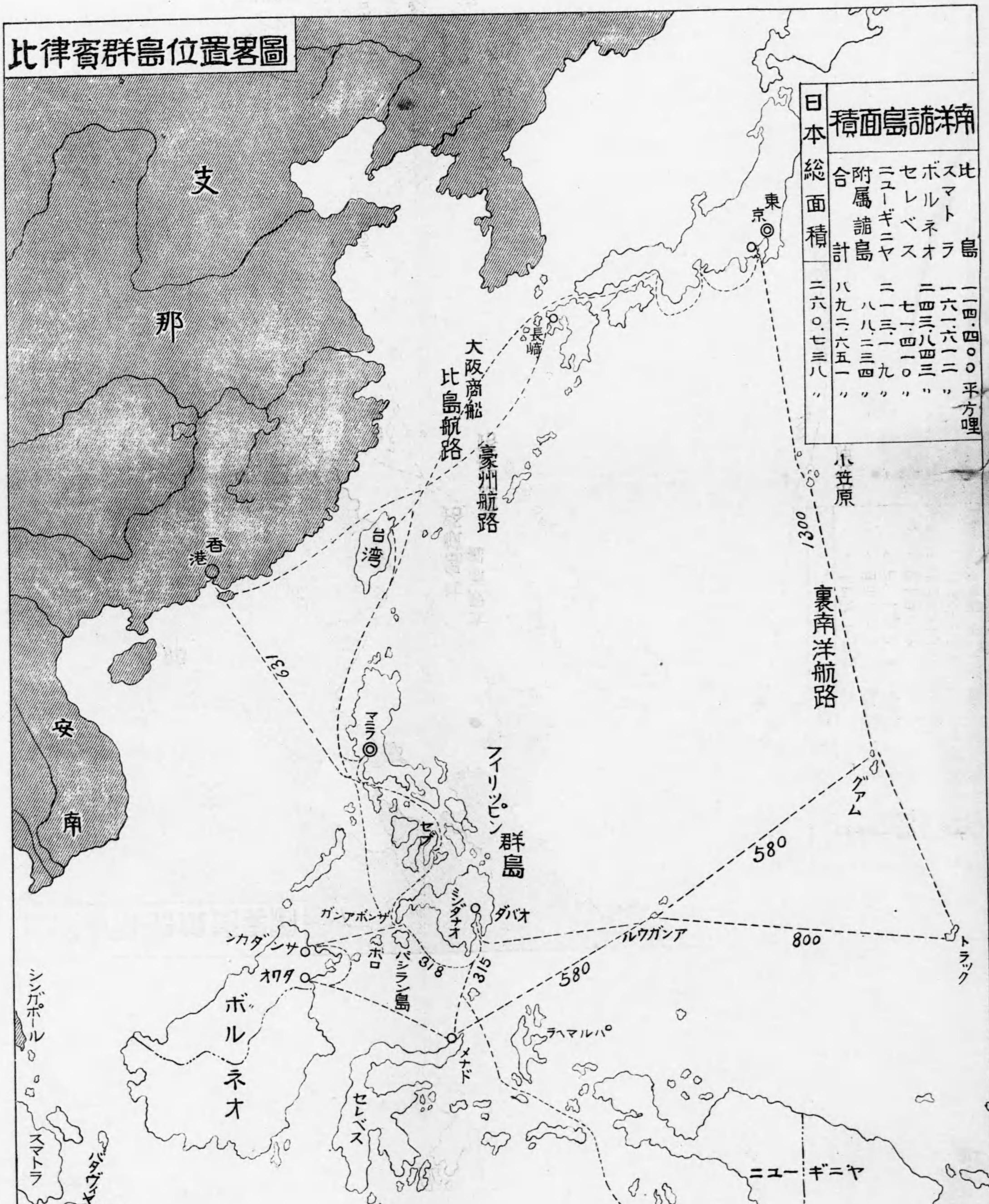
國策としての南洋移民問題

臺灣總督官房調査課

始

←





比律賓群島位置略圖
南洋諸島面積
比島 一一四・四〇〇平方哩
スマトラ 一六一・六一二〃
ボルネオ 二四三・八四三〃
セレベス 七一・四一〇〃
ニューギニヤ 二一三・一九〃
附屬諸島 八八・二三四〃
合計 八九二・六五一〃
日本總面積 二六〇・七三八〃
支那
安南
香港
台湾
長崎
東京
小笠原
大阪商船比島航路
豪州航路
裏南洋航路
1300
631
580
800
318
315
マニラ
セブ
フィリッピン群島
ミンダナオ
ダバオ
ガンアボンサ
サンカダンサ
オワダ
ボロ
バシラン島
ボルネオ
シンガポール
スマトラ
バダヴィヤ
ヤバラス
バヤジ
チモル
セレベス
メナド
ラヘマルパ
ルウガンア
グアム
トラック
ニューギニヤ
木曜島

14:21-478

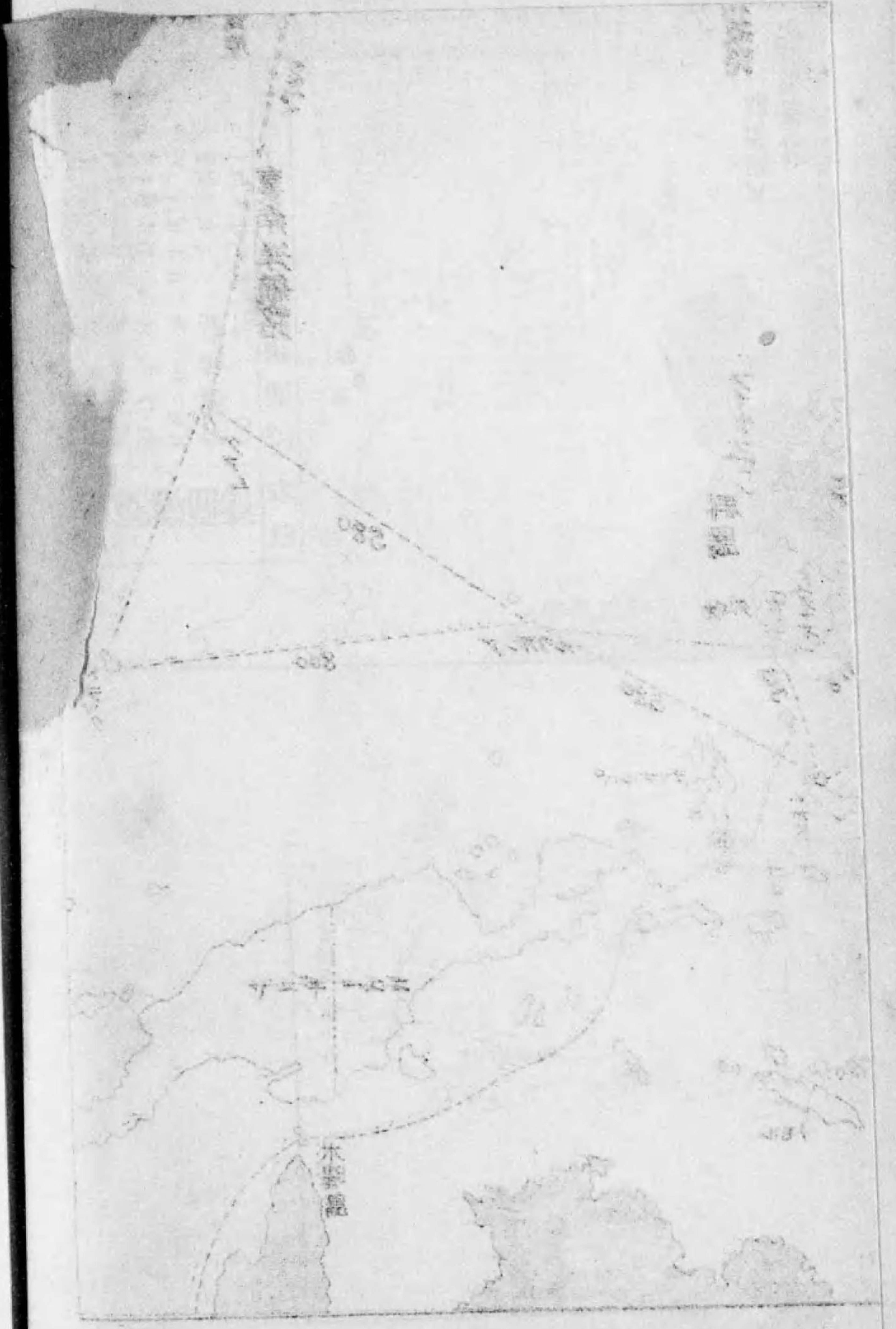
例言

一、本篇は、慶應義塾大學助教授醫學博士隈川八郎氏が、臺灣總督府の囑託を受けて、昭和三年八、九、十、十一、十二月中南洋諸島を視察し、得たる所の經驗に基き論述せるものなり。

一、本篇は、隈川博士が別に論述する所の、「比律賓ダバオ州に於ける邦人産業調査報告、竝に同地在住邦人の保健に關する意見書—南支那南洋調査第百六十輯」竝に「比律賓ダバオ蠶業調査報告—南支那及南洋調査第百六十一輯」を併讀することに依て始めて全きを得るものとす。

昭和四年一月

臺灣總督官房調查課



國策としての南洋移民問題

臺灣、朝鮮、滿洲等の隣接殖民地を除き、所謂我が移民地なるものを通覽するに、北米布哇は既に過去の事に屬し、現在指を屈するに足るべきものは、南米のブラジル及びペルー南洋に於ては比律賓を擧げ得るに過ぎず。

南米は土地廣大、人口稀薄、人種的偏見少く、我が移民地として好適せるは議論の餘地なきが如きも、我が國と距離餘りに遠く、各種の連絡不便にして、豐富なる資力と、地の利を得て奔流の勢を以て南下しつゝある歐米諸國の勢力には到底抗し難かるべく、果してよく將來彼等と對峙し得べきや否や疑ひなき能はず。故に、國家百年の大計としては、南米移民を奬勵すると共に、太平洋の中央に位して、我に於て地の利を占め、白色人種の居住數少く、且熱帶地方なる名に怖れて永住を欲せざる、南洋に資本及び移民を送りて、彼我貿易の奬勵と相俟つて其の土地に强固なる地盤を築くべきなり。

過去の移民政策

◎資本投下には、其の土地の經濟事情に精通し、人情、風俗、氣候、風土に慣れたる有能

發行所寄贈本

の指導者を必要とし、又多數の邦人の居住することを得策とす。然れども此の邦人移民を増加せしむるは、資本の投下よりも寧ろ至難の業たり。卽ち

1　移民なるものは國際的に誤解を受け易きこと

2　移民地の人口稀薄にして勞力を必要とすべきこと

3　勞銀餘りに低率ならざるべきこと

4　邦人の居住に適する氣候風土を有せざるべからざること

等により、今日まで邦人移民の適地を得ざりしが、これ從來の移民政策が多く列國注視の焦點たる、加州、布哇に移民を送り、又は軍事上英國が常に神經過敏となり居れる海峽殖民地に發展せんとし、或は人口我國よりも密なるジャバに進展せんとするが如き形勢を示せるにより、徒らに彼等の神經を刺戟し嫌惡の情を生せしめ、邦人に對して警戒恐怖の念を抱かしめしによるものなり。

殖民政策の眞諦

眞の殖民政策は、列國が既に開拓せる地域、或は軍事上特に注目せる地點より鳴りもの入りにて進入すべきものに非ずして、各國が未だ開拓の力及ばずして他國の助力を求むる

地點に於て行はれざるべからず。孫呉の、所謂直ちに敵の肺腑を突くとは、軍略上の要訣なれども、殖民政策上よりは最も愼むべきの點にして、先づ徐々に邊僻の地に入りて漸次根據地を作り、敵の如何ともすべからざるに至りて始めて肺腑を突くべきなり。

これ英國が、北米、南亞、濠洲、印度に施せし處、ロシヤがシベリヤを獲得し、和蘭が蘭領東印度を經略せし根本方針なり。元より如斯地域は、交通不便、諸設備不完全にして、開拓の勞苦は既開の地に入るよりも多大なるべきは勿論なるが、海外發展に三百餘年も立ち遲れたる我が邦としては當然覺悟せざるべからざる處にして、此の勞苦によりて正當に得たる報酬に對しては、世界各國よりも恐らく其の正解と同情とを贏ち得べきものとす。

由來、先人の創設したる後より、袖手して入り、濡手に粟を攫まんとするが如きは、殖民政策上根本的の誤謬なり。克く人の爲し能はざる處を爲し、其の地方人に利益を與へ、所謂共存共榮の實を擧げなば、到る處歡迎せられざるなく、從來の排日なるものが、冷靜に考へて、邦人が餘りに易きにつき、自己を益するに急にして同胞互に相爭ひ先住者の利害及風俗習慣を尊重せざりしより起れる事實多きは、將來特に注意する所なかるべからず。卽ち移民を送ると共に、有能なる指導者をして彼等を統一せしめ、生業上の指針敎育衞生等の保護施設を完備し、先住民族と和衷協同、以て共存共榮の實を擧げしめ、經濟的

發展を期べきなり。在外邦人中の一識者が、日本の移植民政策なるものは、移民政策に非ずして棄民政策なりと喝破せるは眞に味ふべき所なりとす。

臺灣を中心として進出すべき地方の概觀

今南洋の形勢を一瞥するに、海峽殖民地は、英國がシンカポールを領有する限り外人の勢力侵入を喜ばざるべく、蘭領東印度中、瓜哇は蘭領の心臟にして、人口の稠密なる點より見て到底邦人移民の歡迎せらるゝ餘地なし。

こゝに於て、南洋中我國の投資及移民をなし得べきは、人口稀薄なる米領比律賓（一一四、四〇〇平方哩）英人及和蘭人の力未だ十分の開拓を爲し得ずして廣大なる未開の地を殘せるスマトラ（一六一、六一二平方哩）英、蘭領ボルネオ（英＝三一、一〇六平方哩、蘭、二一二、七三七平方哩、計二四三、八四三平方哩）蘭領セレベス（七一、四一〇平方哩）英、蘭領ニユーギニヤ、（英＝九一、八一〇平方哩、蘭＝一二一、三三九平方哩、計二一三、一四九平方哩）及其の附屬諸島（八八、二三七平方哩）總計八九二、六五一平方哩の地積なるべし。

今是れを本邦の總面積二六〇、七三八平方哩に比較すれば、約三倍半に相當する廣大なる地域にして、然もその單位面積の生産力は、地熱帶なるを以て本邦に數倍するが故に、之等

の土地に我が國勢を伸張することを得ば、我が國の人口食糧問題の解決並に産業立國の基礎を確立し得べく、又軍事上より見るも、此等の諸島は、我國と共に太平洋の中央を縱斷するものなるが故に、最も重要なる地點にして、太平洋問題解決の中心點たるべきなり。

而して、臺灣は是等の地點に近接し、本邦と是等諸地方との連絡の中央に位するが故に、我邦は臺灣を根據地として南洋に進出するを可とす。

南洋進出の方策

然らば如何にして南洋進出を策し得べきか。私見に從へば、先づ他國人の餘り注目せざる一つの重要地點を開拓し、是を根據として更に他の重要地點を連絡し、次に他の一般地域に及ぼすを可とす。是を史實に徵するに、英國が先づ、シンガポールを占領して勢を南洋及印度に張り、更に香港を根據地として支那大陸を制し、米國が比島を取りて更に長驅支那に及ばんとするが如し。而してこれらの諸國が根據地となせしは、當時にありては瘴癘蠻雨の地にして、他國の捨てゝ顧みざりしを自己の努力によりてよく重要地點と爲したるものにして、英人が已に葡人が開きて商港となり居れる、ゴア、マカオに入らずして、自ら、シンガポール、香港等を開拓せしは大に學ぶべき點なりとす。

邦人勢力の分布

今此の地方に於ける邦人の勢力を見るに、馬來半島及びスマトラに對しては、近來邦人の資本投下漸次に增加する傾向ありて、自然の發達に委するも邦人の勢力は伸張すべし。然るに、英領ボルネオに於ては、我が權利土地二萬四千町步、投資額七百萬圓、蘭領ボルネオは權利土地三萬二千町步、投資額四百五十萬圓、セレベスは權利土地五千町步、投資僅に二百萬圓たるに過ぎず。

而も之等地方に在留する邦人に至りては、全部を合して其の數僅に一千有餘に過ぎず。ニユーギニヤに至りては、投資額竝びに在留者僅少にして數ふるに足らず。然も現在の儘に放任するに於ては、これらの先覺者が多大の犧牲を拂ひて得たる土地の大部分は、將に其の權利を失消せんとす。

然るに、米領フイリツピン群島中の第二大島にして、臺灣の約三倍大なるミンダナオ島のダバオに於ては、在留邦人一萬人に近く、權利土地三萬町步資產三千餘萬圓にして、年產額一千萬圓、內地送金年額百五十萬圓を超過し、同州政府の歲入總額七十萬圓中四十七萬圓を納稅してその七割を占め、自動車を通ずる道路四三四基米中、政府が維持する州有路道は八〇基米なるに、邦人の私有道路は三五四基米にしてその八割を占め、經濟的には同州の中心勢力を占め、然もその勢力益々進展せんとす。

故に我が國は須らくダバオを第二根據地として南洋發展策を講ずべし。

發展の後れたる理由

是等の諸地は、白人の力未だ伸びずして、邦人の開拓を待つ餘地や廣大無限なり。然るに邦人が今日まで充分に發展し得ざりし所以を考ふるに

1　南洋の僻地として一般に我が朝野に顧みられざりしこと

2　本邦と是等の地點竝に是等各地間を連絡する交通機關を全く缺如せしこと

3　勞働賃銀低廉なりとの簡單なる理由の下に、何等移民の奬勵を爲さず、在留企業者も亦本邦移民誘入策につき力を盡さざりしこと

4　政府の移民政策が餘りに南米に偏し、南洋の事業竝に移民に對し、產業、衞生、敎育等の移民保護の施設に對し何等見るべきの援助をなさざりし事

卽ち南米移民に對しては渡航補助金及び其他を合して一人當り約二百五十圓の補助をなせるに拘らず、南洋移民に對しては旅費の全額を自辨せしむるのみならず、却

て手數料其他の名義を以て三十餘圓を別に負擔せしむるが如き事

5 殊に女子の移民に對しては、旅券下附手續の面倒なる爲、渡航を一層困難ならしめるた事等に歸せざるべからず。

將來の施設

故に之等の誤謬を一日も速に改め、南洋移民に對する根本的の國策を樹立するは、刻下の急務なりと信ず。卽ち

1 從來の南洋政策なるものは、東洋に於ける英蘭の肺腑たる海峽殖民地、及びジャバ、スマトラのみに集注せられたり。依つて之を改めて其の四肢先端にして彼等の開發の力未だ及ばざるミンダナオ、ボルネオ、セレベス、ニューギニヤ等に方面を變轉すること

2 臺灣又は委任統治諸島と比律賓ダバオ、英領ボルネオのサンダカン、タワオ、セレベス島メナド、との四點を連絡する航路を新設すること

3 之等の地方に入る移民の作業方法としては、現在ダバオに於て邦人が採用して成功を收めつゝある耕作請負制度を採用すること

卽ち資本家は土地を獲得し、自ら之を開墾すると共に、その一部の耕作を邦人移民に請負はしめ、各移民はその下働として土人を使用すること

4 政府は移民の入國と共に、其の渡航補助金に相當する金額を其の渡航地に於ける敎育、衞生、產業施設に對して補助し、更に其の產業狀態の必要に應じ適當の低利資金を融通すること

5 前記諸地方に對して、時々醫學、地質學、農學、植物學等の各專門學者を以て組織する產業指導團を送りて邦人の作業を指導すること

6 前記未開の諸地に對し、必要に應じ、前記各專門家を以て組織する探險隊を送り、將來邦人の移民に適する土地を搜查すること

7 每年一回定期に臺灣に南洋會議を開設し、各移民地の代表者を集め、各地の連絡と意志の疏通を計り、產業方法を指導すると共に臺灣の產業現狀を視察せしむる事

右の內、第二項卽ち臺灣又は南洋委任統治諸島と、ダバオ、ボルネオ、セレベス等を連絡する航路を新設するは現下の急務に屬す。

而して、現在日本郵船會社は、委任統治諸島より、メナドまでの所謂裏南洋航路を有し、大阪商船會社は比律賓航路を經營しつゝあるを以て、これらを延長せしむるに於ては直に實

行し得べく、政府は如斯新航路に對しては、適當なる補助金を下附せらるゝを可とすべし。

以上記述するが如き方策の實行せらるゝに於ては、當然この地方に渡航する邦人増加し、連絡諸地間の交通竝に貿易は増進すべし。

而して之等の施設は、從來此等の諸地を連絡する航路を全然缺けるが故に、啻に在留邦人の利便たるのみならず、之等諸地方の國民の歡迎する處たるべし。

ダバオを第二根據地とする南洋發展策

比島ダバオは、開發せんとする此等諸地方の中心に位し、土地肥沃氣候良好にして、天然の良港を有し、其の權利土地三萬町歩、資産評價三千萬圓、生産年額一千萬圓に達し、在留民は目下一萬に垂んとし、面積に於て三百分の一、人口に於て百分の一を以て、よく全ミンダナオ島生産額の四分の一を占めつゝあり。而して是等の人々は、何れも徒手空拳を以て遠く異郷に渡り、刻苦經營獨力克く蠻地を開拓し得たる、熱帶的氣候風土に慣れ、事業に經驗を有する不撓不屈千軍萬馬往來の殖民上の勇士なり。

故に、一度前記の如き航路開設せられんか、ダバオに於て得たる經驗と勇氣とを提げて更に南下し、新天地を開拓するものを生ずべし。元來、未知未墾の土地に拓殖上何等の經驗を有せざる新移民を送るは策の誤れるの甚だしきものにして、仕事の不慣又は氣候の激變の爲に、成功すべき事業も失敗するのみならず、又健康を毀損するを免れず。

從來我が移民事業の失敗は、前記の諸點に起因すること多し。故に、之等南洋拓殖の新移民は、宜しく先づダバオに渡りて相當の期日勞働に從事し、熱帶地方處女地の開拓作業の經驗を得ると共に、勞銀を得て相當資金を蓄積し、而して後これらの新天地に渡るに於ては、南洋の開墾作業は一般に大同小異なるが故に、直ちに渡航地に於て力を伸ばすを得べし。

是れ卽ち、吾人が臺灣を根據とし、ダバオを足場として其他の南洋諸島を開拓せんとする所以にして、この方策は國家百年の大計たるべし。

若し之が實現を見んか、我國は年々數百萬圓の補助費を與へて數千哩の遠距離にある白人系の南米に移民を送るの要なく、その半額にも及ばざる補助金を以て、將來我國の產業立國上の基礎を確立し得べく、全太平洋の制海權を掌握するに便なる有色人種の先住する是等の諸島に邦人を發展せしめ、白人の克く爲し能はざる事業を遂行して世界人類に寄與すること大なるものあるを得べし。

終